# スヌーズレンビークル

## わくわくと安心を届ける車。

福祉 × 防災 × 車 × スヌーズレン

**必要な場所へ、安心空間を届ける**
**プロジェクト**




**障害のある子どもたちの『行ける場所が少ない』という課題から誕生。**
**安心できる空間を届ける 移動式スヌーズレン車両が相模原で完成へ。**

## スヌーズレンビークルとは

**平常時と災害時、２つの役割を持った**
**車内にスヌーズレン空間・キャンピングカー設備**
**を備えた車両です**

平常時



光や音、触覚などの感覚刺激を通して、心地よさや安心感を感じられる空間を、学校や福祉施設、地域のイベントなど、様々な場所へ届けます。カームダウンスペースの役割も果たします。

災害時



災害時には、避難所の音や人の多さなどに強い不安を感じる方が、一時的に安心して過ごせる空間としての活用を目指します。

## スヌーズレンとは

スヌーズレンは、1970 年代にオランダで、重い障害のある人たちにも、心地よさや楽しさを感じながら過ごせる時間を届けたいという思いから生まれました。
きらきら光る光を眺めたり、ゆらゆら揺れる泡を見つめたり、心地よい音や感触を楽しんだり。そんな五感で感じるひとときを大切にします。
自分の好きなものを見つけて、自分のペースで、感じるままに心地よい時間を過ごすこと。それがスヌーズレンです。







## 私がこのプロジェクトに取組む理由

NPO 法人ぴあっと 代表理事 五十嵐舞子

〇最重度の知的障害と自閉症のある、小学 5 年生の息子がいます
〇興味の幅が極端に狭く、楽しめることも、安心して行ける場所も少ない
〇環境の変化に極端に弱く、大きな声を出してしまったり、待つことが難しいため、
　災害時の避難所利用はあきらめている

これらは私たち家族だけでなく、同じような子どもを育てる家族に共通する課題です。

**安心できる場所へ行くことが難しいなら、安心できる場所をこちらから届けたい。**
**そんな想いから、このプロジェクトを始めました。**

## 制作過程

2026 年

1 月 出会い
2 月 プロジェクト始動
3 月 ベース車両調達
4 月 内装施工開始
7 月 外装デザイン
9 月 ナンバー取得 外装ラッピング
10 月 スヌーズレン空間施工
11 月 完成予定









※スヌーズレン空間イメージ

## 車両と設備

【スヌーズレンビークル 1 号車】
車種：ハイエース　ナローハイルーフ
走行時乗車人数：3 名
【スヌーズレン空間】
利用人数：4 名程度
設備：冷暖房、照明、電源、水場

## 3 者での共同プロジェクト

**異業種の専門性と当事者のニーズを掛け合わせることで、これまでにない新しい支援のかたちを実現**



### NPO 法人ぴあっと【企画・当事者家族】

発達障がいや知的障がいのお子さんや家族支援を行っている NPO 団体。

### 有限会社プロタックアドバンス【車両製作】

カスタムカーなどの製作を行っている工業デザイン会社。

### フィルノットスヌーズレン【スヌーズレン空間製作】

持ち運びや設置が簡単なスヌーズレングッズの企画・製造を行っている。

## 今後の展望

**完成はゴールではなく、新しい社会インフラの始まり**




## 1 年間の実証期間で取組むこと

- 地域の福祉施設等への訪問
- 地域イベントでの活用
- 利用者や支援者の声をもとに改善
- 本格運用に向けた検証
- 自治体や関係機関との連携
- 地域ネットワークの構築

**製作過程や最新情報は公式 Instagram をご覧ください。**

## 出発式・完成お披露目＆体験会の開催

**11/18（水）**
**スヌーズレンビークル出発式（記者発表会）**
場所：相模原市役所本庁舎本館 2 階 特別応接室
時間：10:00 ～ 10:20

**12/13（日）**
**スヌーズレンビークル完成お披露目＆体験会**
場所：相模原市立産業会館 1F 多目的ホール
時間：10:00 ～ 15:00

## 相模原から発信する意義

津久井やまゆり園事件から 10 年。
障害のある人もない人も、共に地域で暮らせる社会を目指して。

**「誰もが安心できる環境を届ける取組み」を相模原から全国へ広げていきたい。**